

●ならし運転

最初の1ヶ月間は、エンジン回転をあまりあげず、苛酷な条件での走行や乱暴な運転は、やめましょう。ならし運転は車の寿命に影響しますので十分行なってください。

●運転のしかた

1. エンジン始動後、暖機運転してください。
2. アイドリング状態を確認し、チェーンジペダルをふみ、一速に入れます。
3. スロットルレバーにより、エンジン回転をあげると、車はスタートします。(スロットルレバーは静かに作動してください。)
4. スピードが上がったらスロットルレバーを一旦もどし、チェーンジペダルをつまみ上げてください。さらに車速を上げることができます。

<注意>

- 始動の前には必ず、ニュートラルを確認してください。
- 変速するときには、スロットルレバーを一旦もどしてから行ってください。

●停止のしかた

1. 車を停止するときは、スロットルレバーをもどしブレーキペダルを2～3回に分けてふみ込み制動してください。
2. 制動時には、ハンドルを直進状態で行なってください。ハンドルを切ったまま制動すると転倒することがあります。

<注意>

- 急制動をすると横転のおそれがあります。常に安全運転を心がけ十分な停止距離をもって制動してください。

●駐車

1. チェンジペダルをニュートラルにし、エンジンキルスイッチをOFFにしエンジンをとめてください。
2. フェーエルコックをOFFにしてください。
3. 車から離れるときは必ず駐車ブレーキをかけてください。

<注意>

- 寒冷地では、ブレーキ等、ワイヤ類の凍結が考えられますので、各部の異常のない事確かめてからご使用ください。タイヤと路面の間に回り止めをかましておくのも方法です。